



Q 子どもの安全対策は

浜西 金満 議員

A 地域全体で取り組む

市長

Q 子どもを狙った事件
が起きるたびに、地
域住民による自主防犯組
織が増えている。

しかしながら、秋田県
藤里町の小学一年生のよ
うに「通学路の安全」と
いう観点では限界がある。
地域の隅々まで、住民の

目が届くような地域づく
りを目指していくための
行政の施策はないのか。

A 全国的に悲しい事件
が続いており、「安全
で安心なまちづくり」を
推進する本市としては、
住民・学校・行政・警察

等が連携し、地域全体で
取り組んでいる。
具体的には、登下校時
の声かけ運動や各種団体
等の協力による腕章・マ
グネットシートを活用し
た地域安全パトロール等
の活動を継続する。
市民自らが自己防衛の

意識を持ち、生活安全活
動が自主的かつ相互に連
携されるよう努めていく。



▲ 路線バスで登校（江南橋バス停）

Q 総合計画・基本構想の具体化を

山本 一也 議員

A 関係部局が連携し取り組む

市長

Q 少子化が進んでいる。
本市の将来を担う子
どもたちを取り巻く状況
は。

A 一時保育・延長保育
事業の実施、第三子
の保育料無料化、乳幼児
医療費補助制度の拡大を
行った。

Q 教育を中心としたま
ちづくりは。

A 「学校再編事業」「江
田島中学校改築事業」
「学校活性化事業」「個性

Q 旧大柿町における学
校統合の具体的な方
針は。

A 統合目標は、大君小
は平成21年度に統合、

豊かな学校づくり支援事
業」「特別支援教育事業」
等を推進し、充実を図る。

柿浦小・飛渡瀬小は、5
年以内に再検討が必要で
あるが、校舎の耐震対策
等の問題もある。早期に
「第二次検討委員会」の
開催が必要と考える。



▲ 江田島市総合計画・基本構想（概要版）



Q 医療費アップの抑制施策は

野崎 剛睦 議員

A 生活習慣病の予防対策を充実

市長



Q 生活習慣病や高齢化
により、毎年、医療
費が上がり、本市の国民
健康保険等の特別会計に
一般会計より11億69百万
円も持ち出している。財
政改革の面からも、市民
の健康増進の施策が待た
れる。

A 本市は県内で一人当た
りの医療費が高い自治体
と指定されているが、こ
れに対しての対策は。

また、メタボリック症
候群（肥満・高脂血症・
高血圧等内臓脂肪症）の
概念を取り入れた生活習
慣病予防対策を実施する。
市民の健康・体力づく
りの支援としては①戸別
訪問指導の充実②健康教
室等を開設③食生活改善

推進事業の充実。健康づ
くり対策は、江田島市健
康推進協議会（仮称）を
立ち上げ、多様な健康づ
くりを推進し、医療費の
抑制に努める。



Q 市職員の対応等は

新家 勇二 議員

A 市民の目線で対応する

市長



Q 市が発足して一年半
あまり経過したが、
市民の方々の声を聞く
と、まだまだ職員の対応
の遅さ、適材適所配置、
標準化、資質の向上等な
されているように思えな
い。
以前にも一般質問で伺っ

たが、その後の対応策等
はどのようにされたのか。
A 常日頃から市民の目
線に立ち、迅速に対
応するよう厳しく指導し
ている。
また、常に問題意識を
持ち、さすがと言われる

公務執行のプロになるよ
う研修等も行い努力し、
行政サービスが円滑かつ
スピードを持って対応で
きるよう職員全員が一丸
となり、市民の負託に応
える。